

平成26年版 災害復旧工事の設計要領

B 5 判 1,162頁 上製本 * 頒価6,600円（消費税込み）送料協会負担

「災害復旧工事の設計要領」（通称「赤本」）は、昭和32年に初版を発行して以来、平成26年版で58版を数えることになります。

その間には、請負工事への転換、機械施工の進展、新工法・新技術の開発、電算化、施工パッケージ型積算方式への移行等、社会情勢の変化とともにその都度内容の改正を行ってまいりました。

災害復旧事業は、被災後速やかに復旧することが事業に携わる者の使命であり、このためには、災害査定設計書を迅速かつ適確に作成する必要があります。

災害査定用歩掛は、文字通り災害査定設計書を作成するための歩掛ですが、実施設計書との乖離が生じないようにとの配慮から、平成5年7月より土木工事標準歩掛に準拠したものとなっています。土木工事標準歩掛は、随時施工形態の変動への対応及び歩掛の合理化・簡素化の観点からの歩掛の改正・制定が行われており、平成26年度の災害査定用歩掛が準拠している土木工事標準歩掛の主な改正内容は次のとおりです。

〔主な改正内容の概要〕

(1) 歩掛について

災害査定用設計歩掛が準拠している土木工事標準歩掛（国土交通省）において、平成26年度は維持修繕工事が新設工事に比べ手間がかかり、人件費や機材のコストも割高になりやすいこと等を考慮し、「橋梁補修用歩掛の新設」「維持修繕用歩掛の改定」「間接工事費率の見直し」を行うとともに、一時中止費用の支出実態を踏まえ、工事一時中止に伴う費用の算定方法の見直しを行った。

(2) 東日本大震災被災3県専用の積算基準の一部見直し

施工実態を踏まえ、土工における日当り作業量の補正及び建設機械等損料のうち維持修理費の補正率を見直した。

(3) 施工パッケージ型積算方式

平成24年10月1日以降試行を開始し、平成25年10月1日から拡充を行い209のパッケージを導入している。既に導入している施工パッケージ単価について物価変動に伴う標準単価および機材材構成比の改定を行った。なお、災害査定における施工パッケージ型積算の取扱いについては、「平成26年度土木工事標準積算基準書」と合わせ、パッケージ型積算の導入によって廃止された歩掛については、「平成24年度及び25年度土木工事標準積算基準書」を災害査定設計標準歩掛表（同意歩掛）として取扱うことが出来る。

【図書購入申込については、裏面をご利用ください。】

◎（公社）全国防災協会の会員及び官公庁の方は必要事項をきれなくご記入の上、FAXにてお申し込みください。

◎非会員（上記以外の方）は代金前納（郵便振替・銀行振込）です。

※ご送金後「払込受領書」のコピーを必ず申込書に貼付してFAXにてお申し込み下さい。

[送料：協会負担 振込手数料：購入者負担]

郵便振替口座	00120-5-55729	取引銀行	みずほ銀行 新橋支店 普通口座 1412439	口座名義	シャ) ゼンコクボウサイキョウカイ
--------	---------------	------	----------------------------	------	-------------------

申込及びお問い合わせ先 : 公益社団法人 全国防災協会

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町3-11 バインランド日本橋ビル5F
http://www.zenkobousai.or.jp/

TEL 03(6661)9730(代)
FAX 03(6661)9733

図 書 申 込 書

公益社団法人 全国防災協会 宛

FAX 03-6661-9733

図 書 名	平成26年版 災害復旧工事の設計要領			冊数	冊	価格	¥
				冊数	冊	価格	¥
				冊数	冊	価格	¥
				冊数	冊	価格	¥
				冊数	冊	価格	¥
申 込 者	都道府県名		住 所	〒			
	申込団体名					TEL	
	部 署 名		氏名		FAX		

* 送付先が代表申込者と同じ場合は下記は省略していただいて結構です

送 付 先			冊 数	(会員・官公庁用) 請求書等部数			備 考
部 署 名	担当者名	住 所		見 積 書	請 求 書	納 品 書	
		〒					
		〒					
		〒					
		〒					
		〒					
		〒					
		〒					
		〒					
		〒					
		〒					

* ご記入いただいた個人情報は、お申込み図書の配送・お支払確認等の連絡のみに利用します。

通 信 欄	* お問い合わせ、ご意見などがございましたらお書き下さい
-------------	------------------------------